

A・B・C・D・E・F

## 優良要件適合申告書 (実習実施者)

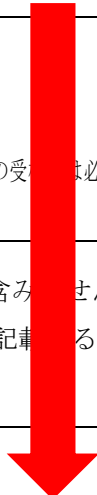
申請者(実習実施者)：機構株式会社

技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律施行規則第15条に定める基準を満たすことについて下記のとおり申告します。

### 記

項目	点数	内容
1 技能等の 修得等に 係る実績	※	① 分母 計 <u>4</u> 名 (A+B) A 現行制度 第1号修了者 <u>4</u> 名 - やむを得ない不受検者 <u>1</u> 名 = <u>3</u> 名 B 旧制度 第1号修了者 <u>1</u> 名 - やむを得ない不受検者 <u>0</u> 名 = <u>1</u> 名 ※直近3技能実習事業年度(4月1日～翌年3月31日)に申請年度は含みません。申請日の属する年度より前の3事業年度に技能実習を修了した者に係る実績を記載すること(以下②③欄も同様)。
	0	② 分子 計 <u>3</u> 名 (A+B) A 現行制度 計 <u>2</u> 名 B 旧制度 計 <u>1</u> 名
	点	③ 基礎級程度の学科試験及び実技試験の合格率 ② <u>3</u> 名 ÷ ① <u>4</u> 名 × 100 = <u>75</u> % ※合格率の小数点以下は切り捨てること。
II	※	① 分母 計 _____ 名 (A+B) A 第2号修了者 計 _____ 名 (a+b) a 現行制度 第2号修了者 _____ 名 - やむを得ない不受検者 _____ 名 = _____ 名 b 旧制度 第2号受検者 _____ 名 ※旧制度について、平成29年7月1日以前受検者はその全てを含めないことが可能であるが、同日以後の受検者は必ず含めること。 B 第3号修了者 _____ 名 - やむを得ない不受検者 _____ 名 = _____ 名 ※直近3技能実習事業年度(4月1日～翌年3月31日)に申請年度は含みません。申請日の属する年度より前の3事業年度に技能実習を修了した者に係る実績を記載すること(以下②③欄も同様)。

●①の算入対象となる技能実習生がない場合は、次ページの項目「II※」(3級程度の実技試験の合格者)に記載してください。



		<p>② 分子 計 _____ 名 (A+B)</p> <p>A 3級程度 _____ 名 (a+b)</p> <p>a 現行制度 計 _____ 名</p> <p>b 旧制度 計 _____ 名</p> <p>B 2級程度 _____ 名</p>
		<p>③ 2級又は3級程度の実技試験の合格率</p> <p>(②A+②B×1.5= _____ 名) ×1.2 ÷ ① _____ 名 × 100 = _____ %</p> <p>※合格率の小数点以下は切り捨てること。</p>
II ※	20 点	3級程度の実技試験の合格者 計 <u>3</u> 名
III	5 点	2級又は3級程度の学科試験の合格者 計 <u>2</u> 名
IV	5 点	<p>技能検定等の実施への協力の実績 ( <input checked="" type="checkbox"/>有 ・ <input type="checkbox"/>無 )</p> <p>a 試験の職種名 <u>機械加工</u></p> <p>b 試験実施機関名 <u>〇〇県職業能力開発協会</u></p> <p>c 協力の概要 <u>試験実施にあたり当社の機械を提供した(令和2年11月)</u></p>
2 技能 実習 を行 わせ る 体 制	I	<p>技能実習指導員全員の講習受講 ( <input checked="" type="checkbox"/>有 ・ <input type="checkbox"/>無 )</p> <p>在籍者 <u>2</u> 名 うち、講習受講者 <u>2</u> 名</p> <p>※講習受講者がいる場合には、講習受講者全員の受講証明書の写し</p> <p>●講習受講者全員の受講証明書の写しを添付してください。</p>
	II	<p>生活指導員全員の講習受講 ( <input checked="" type="checkbox"/>有 ・ <input type="checkbox"/>無 )</p> <p>在籍者 <u>2</u> 名 うち、講習受講者 <u>2</u> 名</p> <p>※講習受講者がいる場合には、講習受講者全員の受講証明書の写し</p>
3 技能 実習 生 の 待 遇	I	<p>第1号技能実習生の時間当たりの賃金 <u>1,200</u> 円 ÷ 最低賃金 <u>1,013</u> 円</p> <p>×100 = <u>118</u> %</p> <p>a 対象とした技能実習生の氏名 ( <u>〇〇〇〇〇〇〇〇</u> )</p> <p>b 最低賃金の種類 ( <input checked="" type="checkbox"/>地域別最低賃金 ・ <input type="checkbox"/>特定最低賃金 )</p> <p>※第1号技能実習生の時間当たりの賃金は、本技能実習事業年度に受け入れている者のうち、賃金の額が最も低いものを記載すること。</p> <p>※最低賃金額は、本技能実習事業年度年頭(4月1日)の金額を記載すること。</p>

	II	5 点	昇給率 ① 第2号技能実習への移行時 <u>6</u> % ② 第3号技能実習への移行時 _____ %
4 法令違反・問題の発生状況	I	※ 0 点	① 改善命令 ( <input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 ) ※有の場合 ( 年月日 年 月 日 / <input type="checkbox"/> 改善実施・ <input type="checkbox"/> 改善未実施 ) ② 旧制度の「改善命令相当の行政指導」 ( <input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 ) ※有の場合 ( 年月日 年 月 日 / <input type="checkbox"/> 改善実施・ <input type="checkbox"/> 改善未実施 )
	II	※ 0 点	失踪者 <u>1</u> 名 / 受入れ <u>15</u> 名 ×100 = <u>6.6</u> % ※受入れ数は、過去3年以内において新たに受入れを開始した技能実習生の総数。
	III	※ 0 点	責めによるべき失踪 ( <input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 )
5 相談・支援体制	I	5 点	マニュアル等の策定及び関係職員への周知 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 )
	II	5 点	受入れ中の全ての技能実習生が母国語で相談できる相談員の確保 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 )
	III	15 点	実習先変更による技能実習生の受入れ ( <input type="checkbox"/> 無 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ) ※実習先変更により受け入れた技能実習生が1名の場合は、下記項目に記入すること。実習先変更により受け入れた技能実習生が複数いる場合は、各技能実習生の下記項目を整理した一覧表を添付すること (様式自由)。 ※有の場合 技能実習生の氏名 ( <input type="text" value="○○○○○○○○○"/> ) 国籍・地域 ( <input type="text" value="○○"/> ) 性別 ( <input type="checkbox"/> 男・ <input checked="" type="checkbox"/> 女 ) 生年月日 ( <input type="text" value="△△△△年△△月△△日"/> ) 受入れ年月日 ( <input type="text" value="△△△△年△△月△△日"/> ) 実習先変更時の技能実習計画認定番号 ( <input type="text" value="認○○××□□□□□□"/> )
	IV	10 点	監理団体を通じた、実習先変更支援のポータルサイトへの登録 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 ) ●ポータルサイトに登録した実習実施者の登録画面を印刷して添付すること。

6 地域 社会 との 共生	I	4 点	日本語学習の支援の概要 日本語学校の通学者に対して、授業料の一部〇〇円を支援した。
	II	3 点	地域社会との交流を行う機会の概要 町内会主催の〇〇祭り（地域祭り）に企画段階から参画し、技能実習生が参加しやすい企画を設けたところ、〇〇年〇〇月〇〇日、技能実習生が参加し、民族舞踊を披露した。  今年度においても、同様の交流を行うこととし、企画に参画している。
	III	3 点	日本の文化を学ぶ機会の概要 〇〇美術館の見学会を企画したところ、〇〇年〇〇月〇〇日、技能実習生が参加した。 今年度においても、同様の見学会を開催予定である。

※本申告書の申請の際は、参考様式第1-24号別紙「受検技能実習生名簿」を必ず添付すること。

(注意)

- 1 点数欄に※印が付された項目については、申告の有無にかかわらず、内容欄を記載すること。
- 2 点数欄は、申告の有無にかかわらず記載し、申告しない項目には、点数表を参照して「0点」、「-5点」等と記載すること。
- 3 「1技能等の修得等に係る実績」の項目については、「II」の欄の計算式の分母の算入対象となる技能実習生がいない場合は、過去3技能実習事業年度には2号未修了であった者の申請日時点の3級程度の技能検定等の実技試験の合格実績に応じた加点を「II※」の点数欄に記載すること。
- 4 「5相談・支援体制」の項目の「IV」に関する資料として、ポータルサイトに登録した実習実施者の登録画面を印刷して添付すること。
- 5 旧加点表と新加点表のいずれを適用するか、下記※に記載のいずれかを選択すること。

合計点
95点

※ 加点表の適用希望 ( 旧 (72/120) ・ 新 (90/150) )